

出展者一覧(50音順)

ア	タ
株式会社アイ・ディー・エクス	株式会社デジタル・ラボラトリー
麻布リース株式会社	株式会社Too
アストロデザイン株式会社	DPSJ Magewell
アスピラク株式会社	ナ
株式会社アブコット	ノイトリック株式会社
池上通信機株式会社	ハ
イメージニクス株式会社	花岡無線電機株式会社
株式会社インターネットイニシアティブ	バナソニック コネクト株式会社
ヴァイテックイメーシング株式会社	バンドウワイトコーポレーション日本支社
VANLINKS株式会社	ビーテック株式会社
ウエタックス株式会社	株式会社ビデオサービス
ATENジャパン	ビデオトロン株式会社
株式会社エーエスシー	ヒビノライティング株式会社
エーティ コミュニケーションズ株式会社	株式会社フォトロン
株式会社エーディテクノ	ブラックマジックデザイン株式会社
エスケイネット株式会社	株式会社プロスパー電子
エヌ・イー・ビー株式会社	平和精機工業株式会社 / Libec
株式会社エヌジーシー	株式会社朋栄 /
株式会社エレクトリ	ビジュアル・グラフィックス株式会社
株式会社オーディオストック	(Visual Graphics Inc)
オタリテック株式会社	マ
カ	株式会社マウスコンピューター
カナレ電気株式会社	松田通商株式会社
キャンノンマーケティングジャパン株式会社	三友株式会社
銀一株式会社	武蔵株式会社 / 武蔵エスアイ株式会社
クロスイメーシング株式会社	MEDIAEDGE
株式会社コスミックエンジニアリング	ラ
サ	リーダー電子株式会社
三信電気株式会社	株式会社レスターコミュニケーションズ /
株式会社ジェビコ	タックシステム株式会社
スバンクル ラボ	
摂津金属工業株式会社	
ゼンハイザージャパン	

出展者名

会場への交通

ATCホール
(大阪市住之江区南港北2-1-10)

- 「新大阪」からOsaka Metro 御堂筋線を利用する場合「本町」で中央線に乗り換え、コスモスクエア経由で約40分
- 堺東・堺~ATCまで、南海バスで乗り換えなしの最短約30分
- ニュートラム「トレードセンター前」下車 徒歩約5分

ご来場に関する注意事項
会場内での写真撮影はご遠慮ください。

主催者による会場内記録の使用について
主催者は展示会場内にて記録撮影を行います。撮影しました画像は、主催者が広報宣伝活動に使用することがあります。

入場無料 事前来場登録制

来場を希望される方は
事前来場登録が必要です!

トップページから事前登録フォームにお入りください。

www.tv-osaka.co.jp/kbe



- ※ご来場に際しましては、お一人様ずつ来場登録が必要です。
- ※事務局から返信される登録完了メールの保存画面、またはプリントアウトを会場にお持ちください。
- ※来場者証(2日間有効)と交換させていただきます。
- ※ご来場当日、返信メールの保存画面またはプリントアウトを持参されなかった場合は再度登録所での来場登録が必要です。
- ※ファックスや郵送、電話での事前来場登録は受け付けておりません。

※掲載内容は6月3日現在のものです。事前の予告なく変更または中止する場合がございます。

新型コロナウイルス感染症対策について

政府・自治体・関連団体のガイドラインに沿い、十分な対策を講じて開催いたします。ご来場にあたっては事前来場登録のご利用をお願いいたします。



手指消毒・検温の実施

会場入口への消毒液の設置ならびに共用部の巡回清掃・消毒。
非接触体温計等による体温測定を行います。
37.5度以上の方は入場をお断りします。



マスク着用のうえ、十分な間隔保持

マスク着用をお願いします。
ほかの人との間隔を十分にお取りください。



会場内換気

会場のドア開放や空調運転により定期的な換気を行います。



アプリ

「大阪コロナ追跡システム」
「厚生労働省新型コロナウイルス接触確認アプリ」
の登録およびインストールをお願いします。



次の方は展示会への参加を控えてください

発熱、咳、咽頭痛、陽性者との濃厚接触者、体調がすぐれない場合など。

お問い合わせ 関西放送機器展事務局

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-2-15 (株)テレビ大阪エクスプロ内
TEL 06-6944-9919 E-mail kbe@tv-osaka.co.jp

www.tv-osaka.co.jp/kbe

第7回

関西放送機器展

KANSAI BROADCASTING EQUIPMENT EXHIBITION (KBE)

2022年 7/13 [水]・14 [木]

10:00~18:00 10:00~17:00

大阪南港ATCホール

主催：関西放送機器展実行委員会(構成：アジア太平洋トレードセンター・テレビ大阪・テレビ大阪エクスプロ)
特別協力：(一社)日本映画テレビ技術協会
後援：総務省 近畿総合通信局、経済産業省 近畿経済産業局、大阪府、大阪市、(一社)衛星放送協会、(特非)映像産業振興機構、(一社)映像情報メディア学会、(一社)カメラ映像機器工業会、関西映像プロダクション協会、関西舞台テレビテク&アート(協組)、全国舞台テレビ照明事業(協組)、(一社)全日本テレビ番組製作社連盟、(一財)デジタルコンテンツ協会、(一社)デジタルメディア協会、(一財)電波技術協会、日本映画テレビ照明協会、(協組)日本映画・テレビ編集協会、(協組)日本映画・テレビ録音協会、(一社)日本映像ソフト協会、(一社)日本オーディオ協会、(一社)日本ケールテレビ連盟、(一社)日本CATV技術協会、(一社)日本動画協会、日本舞台音響事業(協組)、(一社)放送サービス高度化推進協会、マルチスクリーン型放送研究会、(一社)日本音響家協会 (順不同)

メディアパートナー：
映像新聞、月刊ニューメディア、電波新聞、電波タイムズ、放送技術、放送ジャーナル、HOTSHOT (50音順)



入場無料
事前来場登録制

関西最大級の
プロフェッショナル向け
放送・業務用機器展

進化を続ける放送・通信系技術

SNSなどネット上で誰もが手軽に高品質の動画配信ができるまでに撮影・編集機器は発展しています。より高速で大量のデータの受信・発信を求める消費者。通信系の技術もさらに進化し続ける必要があります。一方、動画制作や配信が身近になった現代、放送・制作に携わる業界には、より高品質なコンテンツ制作力と迅速かつ強固な仕組みで放送を担う使命があります。第7回 関西放送機器展。ここに集まる最新機器や最先端のテクノロジーが、放送・制作業界のさらなる発展の可能性を示します。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

7/13 13:00~14:00 Dホール

基調講演 放送技術政策の最新動向 (仮)
 総務省 情報流通行政局 放送技術課長 近藤 玲子氏

放送を守れ~災害への備え

7/13 15:00~16:00 Dホール

特別講演 東日本大震災を教訓とした新社屋~いかに放送を継続させるか~ (仮)
 (株)東日本放送 社長室次長 兼 新社屋プロジェクト室次長 清水 紀夫氏

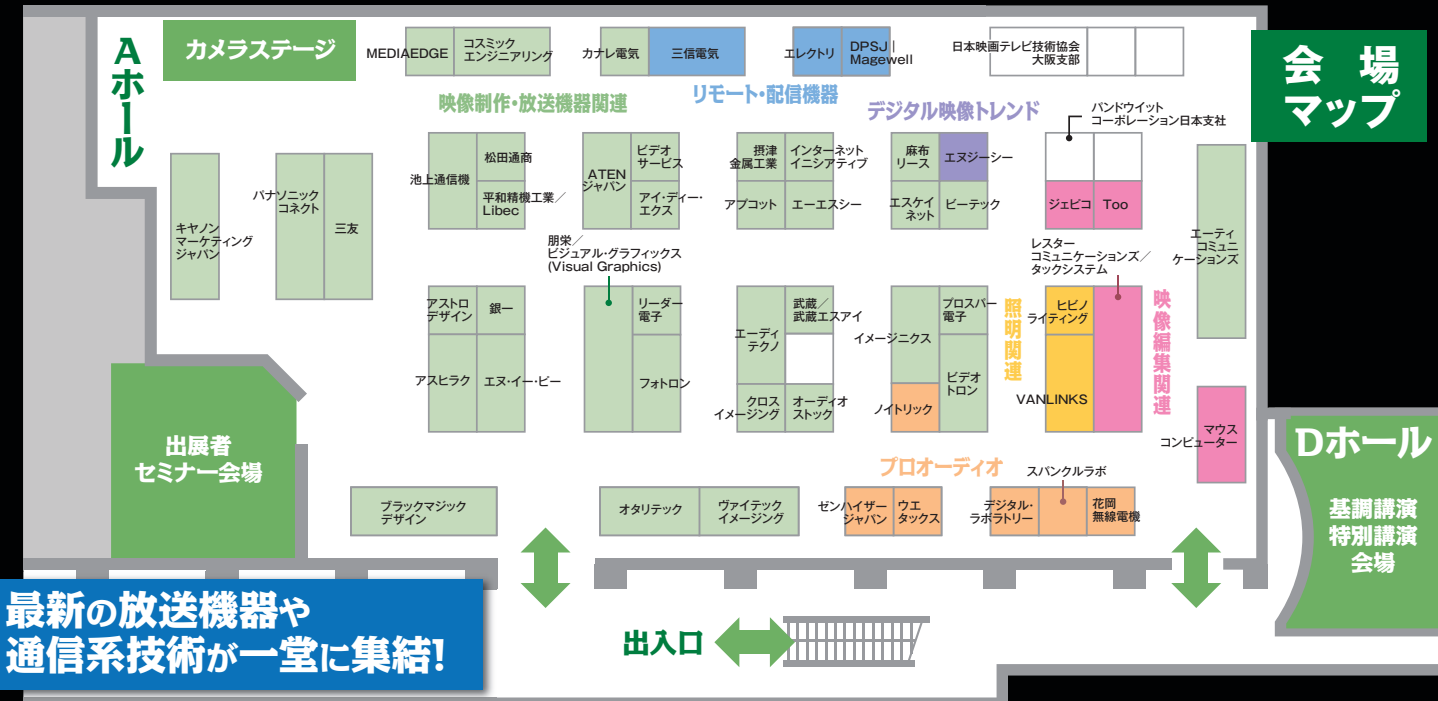
東日本大震災から11年。大規模自然災害の多いわが国では、危機に備える必要があります。人々に情報を届ける報道機関には、災害発生時にも事業を継続する責任が求められます。昨春秋に新社屋移転を果たした宮城の東日本放送より、震災当時に直面した課題と対策、その知見を活かした新たな機能や設備についてご紹介します。



7/14 11:00~12:00 Dホール

特別講演 NAB Show 2022報告 IPとクラウドがコンテンツを強化する

映像新聞 論説委員 Ph.D. 杉沼 浩司氏
 3年ぶりのリアル(対面)開催となった「NAB Show 2022」は、5万人超の参加を得て平常状態に戻りつつあることを示しました。IP対応をテコに、クラウドを活用して新たな制作態勢を築く映像コンテンツ業界の状況を報告します。
※各講演・企画の内容については変更になる場合があります。



最新の放送機器や通信系技術が一堂に集結!

IP技術・リモートプロダクション等、今話題のテーマに関する特別講演や出展企業によるセミナーを開催! 詳細情報は、順次ホームページへ掲載いたします

出展者セミナー

7/13 14:00~14:45 オタリテック(株) ベルギーサッカー1部リーグ「Proximus TV」の番組制作IP拡張プロジェクト
 営業部 プリセールスマネージャー 数金 千恵氏
 過去数年に渡って取り組んできたリモートプロダクションをさらに拡張し、VSMによって、効率的かつエレガントなプロダクションワークフローが実現している「Proximus TV」IP拡張プロジェクトのケーススタディをご紹介します。

15:00~15:45 (株)Too 映像利用におけるフォント利用許諾
 MD商品部 シニアフォントコーディネーター 三原 史朗氏
 映像メディアが、放送、ネット配信、SNSなど多数のメディアに広がる昨今、コンテンツ内で利用するフォントや素材の利用許諾なども複雑化しています。本セミナーでは、より安全にコンテンツを作成する上でのフォント許諾についてお話をさせていただきます。

7/14 14:00~14:45 センハイザージャパン(株) 中継車、MA・サラウンドスタジオ向け Neumann KHモニタースピーカーと MA 1による自動音場補正
 プロオーディオ事業部 ビジネスディベロップメントマネージャー 藤井 宏幸氏
 スタジオ用マイクروفोनで有名なノイマンのモニタースピーカーの要素技術とモニタースピーカーの正しいセッティング方法をご案内します。また、すぐに始められる自動音場補正MA 1の概要、今後のラインナップについてもご紹介いたします。

カメラステージ出展者 (50音順)

池上通信機(株) 「UHK-X700」
 4K/HDポータブルカメラシステムとして最大のポテンシャルを發揮するUHK-X700。グローバルシャッター対応CMOSセンサー搭載により自然な4K高画質映像を再現します。

キャンノンマーケティングジャパン(株) 「EOS C500 Mark II」
 5.9K RAW 60P収録対応のフルサイズセンサー搭載シネマカメラ。別売の拡張ユニットや交換マウントの組合せで、撮影システムを柔軟に構築可能

(株)コスミックエンジニアリング 「ENGカメラ用光ファイバー伝送カメラアダプタシステム SCAシリーズ」
 ショルダー型やハンディ型のカムコーダをスタジオ用カメラや、ライブ中継としてシステム運用する事が出来ます。カメラアダプタとベースユニット間は、1本の光カメラケーブルにより各種信号、カメラ電源の伝送が可能です。

パナソニック コネクト(株) 「4K スタジオカメラシステム」
 大判4.4Kセンサー搭載の高画質4KスタジオカメラAK-UC4000をはじめ、ご好評頂いているKAiROS/MoIP対応システムとのトータルソリューションをご提案致します。

三友(株) 「Kandao Obsidian Pro」
 最大12K×12K 30fpsの3DVRが撮影可能。8つの2400万画素APS-Cセンサーを備え、14ストップのダイナミックレンジ、ISO感度は12,800の値をカバーする世界最高峰のVRカメラ。

MEDIAEDGE(株) 「スポーツ向けハイスピードカメラQDCAM」
 FHD4倍速スーパースロー撮影に対応したボックスカメラです。グローバルシャッターCMOSセンサーを搭載し、マイクロフォーサーズレンズに対応しています。これだけの機能を備えながらコストパフォーマンスに優れています。